

課題10事例

定山溪観光協会 札幌湯の杜『定山溪温泉』イベント

2016年の開湯150周年を前に、2015年3月、定山溪が観光地・温泉地として目指すべき将来像及び方向性を描き、官民一体となって魅力向上を図るための指針となる「定山溪観光魅力アップ構想」を策定。



ポイント

- 年間を通じた集客イベント事業の推進
- 温泉、宿泊以外の観光コンテンツ開発
- ナイトタイムエコノミーの推進
- 二次交通の運航

背景

毎年100万人以上の宿泊客が利用しているが、団体旅行から個人旅行へシフトし宿泊者数が減少傾向にある。利用者の旅行目的や思考も多様化しており、温泉街の散策や周辺の自然を生かした体験活動など定山溪全体の魅力を高めることが求められている。

取組内容

■4月1日～5月6日 定山溪温泉溪流鯉のぼり

30年以上継続している、定山溪の春の風物詩。道内のご家庭から寄贈いただいた約400匹の鯉のぼりが豊平川上空を舞う。夜にはライトアップもされる。

■7月10日～10月20日 JOZANKEI NATURE LUMINARIE

2016年定山溪開湯150周年を記念して定山溪観光協会が企画。国立公園を舞台に豊かな森、水、草花を光で表現したライティングパフォーマンス。クリエイター集団「NAKED」がプロデュースした自然と共創する光のショーは今では定山溪温泉を代表する人気イベントとなっている。

■7月10日～8月31日 かつぼんラリー

定山溪を歩き廻り謎を解き明かす周遊ゲーム。夏休みの自由研究にも人気のファミリーで楽しめる企画となっている。

■9月26日～10月21日 五大紅葉

国立公園に位置する定山溪の絶景紅葉エリアを5か所ピックアップし、五大紅葉エリアとし、紅葉時期限定で定山溪温泉から各所にバスを運行させている。

- ①「紅葉ゴンドラ」国際スキー場
- ②「紅葉かつぱバス」知られざる絶景紅葉ポイントを地元ボランティアガイドが案内
- ③「豊平峡ダム行きシャトルバス」
- ④「定山溪ファーム行きシャトルバス」
- ⑤「かつぱライナー号八剣山ルート」札幌から定山溪までの直行バスのうち2便がルートを変えて八剣山へ立ち寄る

■1月8日～1月17日 雪三舞

温泉街からすぐそばの「三笠スキー場」に、スノーラフティングやチューブ滑りなど様々なアトラクションが集結。

事前に雪三舞専用コインを購入し、寒い中金銭の授受のないようにしている。

■2月5日～2月11日 雪灯路

2010年より始まり、今では冬の風物詩となっている。スノーキャンドルとプロジェクションマッピングやレーザー照明など真冬の定山溪神社を幻想的に演出している。

定山溪地域の宿泊施設利用者数 (千人)



令和2年度札幌の観光